



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月11日

上場会社名 ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6090 URL <http://humanmetabolome.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菅野 隆二  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長 (氏名) 長谷川 哲也 (TEL) 03-3551-2180  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 ( 機関投資家・アナリスト向け )

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	299	23.7	△115	—	△111	—	△110	—
27年3月期第2四半期	242	18.8	△141	—	△132	—	△135	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △110百万円( —%) 27年3月期第2四半期 △134百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△20.80	—
27年3月期第2四半期	△25.76	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しているものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	1,625	1,480	91.1
27年3月期	1,741	1,583	90.9

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 1,480百万円 27年3月期 1,583百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00			
28年3月期(予想)			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	900	31.1	15	—	18	—	12	—	2.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	5,333,200株	27年3月期	5,320,900株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	一株	27年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	5,328,490株	27年3月期2Q	5,244,839株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、平成27年11月20日（金）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料については、開催後遅滞なく、TDnetで開示するとともに、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国の金融政策が正常化に向かう一方、中国をはじめとした新興国経済の下振れ懸念がリスクとなり、依然として不透明な状況で推移しました。国内においては、企業収益の改善や雇用環境の改善等が見られ、緩やかな回復基調を維持しました。

当社が属するライフサイエンス業界においては、高齢化を背景として医療費の増加が続く中、予防医療の推進等に期待が高まっています。また、本年4月に発足した日本医療研究開発機構（AMED）による医療関連の研究開発支援が進められています。

このような状況の中、当社グループでは、メタボローム解析事業の受注拡大に向けて、セミナーやキャンペーンを中心に積極的な販促活動を継続的に実施するとともに、更なる顧客基盤・収益基盤の拡充に向けて、新たな測定・解析プラン（メニュー）の開発等に取り組んでまいりました。また、大うつ病性障害のバイオマーカーの事業化に向けて、共同研究先であるシスメックス株式会社と連携して技術的課題の解決に取り組むとともに、同社とのライセンス契約に向けた交渉を実施してまいりました。

これらの結果、第2四半期連結累計期間の売上高は、299,468千円（前年同期比23.7%増）、営業損失は115,938千円（前年同期は141,616千円の営業損失）、経常損失は111,775千円（前年同期は132,462千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は110,854千円（前年同期は135,122千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの状況を示すと、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、前年同期との比較・分析は変更後の区分に基づいております。

#### ① メタボローム解析事業

前期に強化した営業体制のもと、大口案件獲得に積極的に取り組んだ他、セミナー等を68回開催し医薬分野での販促に注力しました。米国においては、ダイレクトメールや学会でのプロモーション活動に効果が見られ、SCOPEシリーズを中心に売上が伸長しました。この結果、売上高は245,292千円（前年同期比15.3%増）、セグメント利益は42,651千円（前年同期比100.2%増）となりました。

なお、当社グループのメタボローム解析事業は、医療機関・研究機関を中心とした多くの顧客の年度末にあたる当社第4四半期連結会計期間に売上高、利益ともに大きくなる傾向にあります。

#### ② バイオマーカー事業

大うつ病性障害のバイオマーカーの事業化に向けた開発に継続して取り組み、当該バイオマーカーを用いた体外診断用医薬品の実用化に向け、かねてより共同研究を進めてまいりましたシスメックス株式会社とライセンス契約を締結しました。また、精神科の専門病院と提携し有償臨床検査受託の展開を継続しました。この結果、売上高は30,620千円（前年同期比508.7%増）、セグメント損失は14,002千円（前年同期は36,433千円のセグメント損失）となりました。

#### ③ 人材派遣事業

大学向けに研究者、技術者等を派遣し、売上高は23,556千円（前年同期比2.9%減）、セグメント利益は905千円（前年同期比32.2%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,399,908千円となり、前連結会計年度末に比べ200,951千円減少しました。これは、現金及び預金が128,934千円、有価証券が99,923千円減少したこと等によるものであります。

##### (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は225,707千円となり、前連結会計年度末に比べ85,336千円増加しました。これは、投資有価証券が102,370千円、有形固定資産の減価償却累計額が28,151千円増加したこと等によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は107,208千円となり、前連結会計年度末に比べ3,581千円増加しました。これは、買掛金が6,496千円減少した他、その他に含め表示している未払消費税等が減少、未払費用及び前受金が増加したこと等によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は37,598千円となり、前連結会計年度末に比べ16,986千円減少しました。これは、長期借入金が8,520千円、リース債務が5,511千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は1,480,808千円となり、前連結会計年度末に比べ102,209千円減少しました。これは、新株予約権の行使により資本金が4,102千円、資本剰余金が4,102千円増加したものの、親会社株主に帰属する四半期純損失110,854千円を計上したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ228,858千円減少し、1,234,330千円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの概況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは104,839千円の支出(前年同期は53,122千円の支出)となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失111,775千円の計上、減価償却費29,556千円の計上、売上債権の増加21,064千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは114,349千円の支出(前年同期は86,991千円の支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出11,246千円、投資有価証券の取得による支出102,370千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは10,082千円の支出(前年同期は11,846千円の支出)となりました。これはリース債務の返済による支出9,706千円、長期借入金の返済による支出8,520千円、株式の発行による収入8,144千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、例年第4四半期連結会計期間に売上高の計上が集中する傾向にありますが、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、予想の範囲内で推移しております。また、当社グループの経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通しにつきましても、現在のところ重要な変更事項はありません。そのため、通期の業績予想につきましては、平成27年5月13日公表のとおりといたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	962,926	833,991
売掛金	106,329	127,372
有価証券	500,262	400,338
商品	5,100	9,929
仕掛品	1,882	1,055
原材料及び貯蔵品	4,957	7,430
その他	19,412	19,801
貸倒引当金	△10	△11
流動資産合計	1,600,859	1,399,908
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,357	16,357
工具、器具及び備品	226,419	237,710
リース資産	121,567	121,567
減価償却累計額	△234,478	△262,629
有形固定資産合計	129,866	113,005
無形固定資産	4,867	4,561
投資その他の資産		
投資有価証券	—	102,370
その他	5,636	5,769
投資その他の資産	5,636	108,140
固定資産合計	140,370	225,707
資産合計	1,741,230	1,625,615
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,625	128
1年内返済予定の長期借入金	17,040	17,040
リース債務	19,532	15,338
未払法人税等	3,755	5,442
その他	56,672	69,259
流動負債合計	103,626	107,208
固定負債		
長期借入金	14,420	5,900
リース債務	16,354	10,842
繰延税金負債	10,039	7,679
資産除去債務	11,774	11,835
その他	1,997	1,341
固定負債合計	54,585	37,598
負債合計	158,211	144,807
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,249,639	1,253,741
資本剰余金	1,238,355	1,242,457
利益剰余金	△915,204	△1,026,058
株主資本合計	1,572,790	1,470,140
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	10,227	10,667
その他の包括利益累計額合計	10,227	10,667
純資産合計	1,583,018	1,480,808
負債純資産合計	1,741,230	1,625,615

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	242,049	299,468
売上原価	107,151	103,406
売上総利益	134,898	196,062
販売費及び一般管理費	276,514	312,001
営業損失(△)	△141,616	△115,938
営業外収益		
受取利息及び配当金	371	504
補助金収入	1,259	4,647
移転補償金	8,471	—
その他	236	178
営業外収益合計	10,338	5,330
営業外費用		
支払利息	909	636
為替差損	—	425
その他	273	105
営業外費用合計	1,183	1,167
経常損失(△)	△132,462	△111,775
税金等調整前四半期純損失(△)	△132,462	△111,775
法人税、住民税及び事業税	1,964	1,438
法人税等調整額	695	△2,359
法人税等合計	2,659	△921
四半期純損失(△)	△135,122	△110,854
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△135,122	△110,854

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純損失(△)	△135,122	△110,854
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	614	440
その他の包括利益合計	614	440
四半期包括利益	△134,507	△110,414
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△134,507	△110,414
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△132,462	△111,775
減価償却費	30,900	29,556
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△119	1
受取利息及び受取配当金	△371	△504
支払利息	909	636
為替差損益(△は益)	-	61
補助金収入	△1,259	△4,647
移転補償金	△8,471	-
売上債権の増減額(△は増加)	45,320	△21,064
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,735	△6,476
仕入債務の増減額(△は減少)	1	△6,496
前払費用の増減額(△は増加)	△11,024	△9,121
前受収益の増減額(△は減少)	10,577	1,470
前受金の増減額(△は減少)	11,016	10,985
未払金の増減額(△は減少)	△2,256	724
未払費用の増減額(△は減少)	11,789	7,423
未払消費税等の増減額(△は減少)	△9,644	△5,806
預り金の増減額(△は減少)	95	161
その他	△1,789	8,577
小計	△59,523	△106,295
利息及び配当金の受取額	371	502
利息の支払額	△868	△625
補助金の受取額	2,910	2,002
補助金の返還額	△54	△7
移転補償金の受取額	9,350	-
法人税等の支払額	△5,308	△416
営業活動によるキャッシュ・フロー	△53,122	△104,839
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△92,773	△11,246
無形固定資産の取得による支出	△600	△687
投資有価証券の取得による支出	-	△102,370
敷金の差入による支出	△276	△95
敷金の回収による収入	6,658	50
投資活動によるキャッシュ・フロー	△86,991	△114,349
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	20,000	-
短期借入金の返済による支出	△20,000	-
長期借入金の返済による支出	△38,520	△8,520
株式の発行による収入	33,795	8,144
リース債務の返済による支出	△7,122	△9,706
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,846	△10,082
現金及び現金同等物に係る換算差額	275	413
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△151,684	△228,858
現金及び現金同等物の期首残高	1,509,385	1,463,188
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,357,701	1,234,330

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	メタボローム 解析事業	バイオマーカー 事業	人材派遣事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	212,749	5,030	24,270	242,049
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	212,749	5,030	24,270	242,049
セグメント利益又は損失(△)	21,300	△36,433	1,334	△13,798

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△13,798
全社費用(注)	△127,818
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△141,616

(注) セグメント利益の全社費用△127,818千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	メタボローム 解析事業	バイオマーカー 事業	人材派遣事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	245,292	30,620	23,556	299,468
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	245,292	30,620	23,556	299,468
セグメント利益又は損失(△)	42,651	△14,002	905	29,553

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	29,553
全社費用(注)	△145,492
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△115,938

(注) セグメント利益の全社費用△145,492千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

## 3 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来の報告セグメントのうち、「メタボロミクスキット事業」については、メタボロミクスキット本体の販売終了に伴い経営管理体制を見直し、「メタボローム解析事業」に含めることとしました。

また、当該経営管理体制の変更に伴い、従来全社費用に含めておりました営業部門の費用を、直接帰属する報告セグメント「メタボローム解析事業」に含めることとしました。

なお、前第2四半期累計期間のセグメント情報は、変更後の方法により作成しております。

## 4. 補足情報

## 生産、受注及び販売の状況

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、前年同期との比較・分析は変更後の区分に基づいております。

## ① 生産実績

生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	
	生産高(千円)	前年同期比 (%)
メタボローム解析事業	6,401	82.8
合計	6,401	82.8

- (注) 1. 金額は、販売価格によっており、消費税等は含まれておりません。  
 2. 上記の金額には、メタボローム解析事業のうち、試薬キットに係る部分を記載しております。  
 3. その他メタボローム解析事業、バイオマーカー事業及び人材派遣事業については、業務の性質上生産として把握することが困難であるため、記載しておりません。

## ② 仕入実績

仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	
	生産高(千円)	前年同期比 (%)
メタボローム解析事業	11,424	101.8
合計	11,424	101.8

- (注) 1. 金額は、仕入価格によっており、消費税等は含まれておりません。  
 2. 上記の金額には、メタボローム解析事業のうち、限外ろ過フィルターに係る部分を記載しております。  
 3. その他メタボローム解析事業、バイオマーカー事業及び人材派遣事業については、業務の性質上仕入として把握することが困難であるため、記載しておりません。

## ③ 受注実績

受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)			
	受注高(千円)	前年同期比 (%)	受注残高(千円)	前年同期比 (%)
メタボローム解析事業	322,690	96.8	176,698	94.6
バイオマーカー事業	30,620	—	—	—
合計	353,310	106.0	176,698	92.1

- (注) 1. 金額は、販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。  
 2. 人材派遣事業については、業務の性質上受注として把握することが困難であるため、記載しておりません。

## ④ 販売実績

販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	
	販売高(千円)	前年同期比 (%)
メタボローム解析事業	245,292	115.3
バイオマーカー事業	30,620	608.7
人材派遣事業	23,556	97.1
合計	299,468	123.7

- (注) 1. 金額は、販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。